

第5章 地域包括ケアシステムに係る取組

当市では、上越市第3次地域福祉計画の基本理念である「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現」を目指し、上越市第9期介護保険事業計画・第10期高齢者福祉計画では3つの基本目標のもと、「上越市版地域包括ケアシステム」の深化に向けた取組を推進します。

- 【基本目標1】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる環境づくりを推進します
- 【基本目標2】利用者の自立を支え、介護する家族等を支援する介護保険サービスの充実に努めます
- 【基本目標3】一人ひとりの出番を創出し、生きがいを持っていきいきと暮らせるまちづくりを推進します

①介護予防・重症化予防の取組（高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施）

当市では、高齢化の進行に伴い、後期高齢者人口や認知症高齢者の増加が見込まれています。高齢者の特性を前提に、後期高齢者の自立した生活を実現し、健康寿命の延伸を図っていくためには、生活習慣病等の重症化を予防する取組と、生活機能の低下を防止する取組の双方を一体的に実施する必要があります。

当市は、令和2年度より新潟県後期高齢者広域連合から事業を受託し「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を実施しています。令和6年度以降も引き続き事業を行うとともに、フレイル^{*41}のリスクがある高齢者を把握して「通いの場」につなぐなど、関係部署が連携した介護予防の取組を推進します。

KDBや見える化システム^{*42}を活用し、若い年代から高齢期までの健診・医療・介護データを一体的に分析することで効率的・効果的な保健事業を展開し、介護予防・重度化防止につなげます。また、対象者を明確にした個別支援と健康教育・相談支援の双方の取組を行います。

②地域で支え合う仕組みづくりの推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けていくためには、高齢者自身を含めた多様な世代が主体的に地域の担い手となって支え合い、高齢者の介護予防活動や日常生活を支援する体制の整備を進めていく必要があります。多様な社会資源と、地域で活動する多くの人々による「地域の活力」をいかし、行政と市民等が一体となって、高齢者を地域で支え合う体制づくりを一層推進していきます。

③地域包括支援センターの機能強化

高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括支援センターの総合相談機能を強化し、きめ細やかな相談対応や一人ひとりの状態に応じた支援を行っていきます。また、地域における多職種相互の連携・協働の体制づくりや介護支援専門員に対する支援など、個々の高齢者の状況や変化に応じた包括的・継続的ケアマネジメントを強化します。